

<配布資料：2020年1月14日 一般社団法人環境金融研究機構>

連絡先：東京都千代田区神田淡路町1-9-5、天翔御茶ノ水オフィスビル303号

電話 03-6206-6639 携帯 090-8728-2311（藤井）

Email <green@rief.jp.org>

第5回（2019年）サステナブルファイナンス大賞受賞式の御案内



2020年1月22日（水）午後3時から、東京・内幸町の日本プレスセンター9階記者会見室で、表彰式を開催します。受賞各社による発表も予定しています。佐藤泉委員長（佐藤泉弁護士事務所）が表彰状を各受賞企業に授与します。報道各社の皆様の御取材をお願いします。

<サステナブルファイナンス大賞とは>

環境問題を金融的手法で解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を行う一般社団法人環境金融研究機構（RIEF）が、2015年から始めた表彰制度で、今回が5回目です。対象は日本の金融市場で環境金融商品・サービス・取り組みを展開する金融機関、企業等です。

10人の審査員が6項目に基づき採点、全員のスコアを元にした定量評価と、審査員会議での定性評価を合わせた総合判断で、「最も優れた金融機関」を選びました。

大賞：城南信用金庫

「東電福島原発事故を契機に再エネファイナンスを展開。融資、貯金の両面で関連の金融商品を開発、ESG投融資推進のほか、2018年に国内金融機関初の「Re100」に加盟、1年半で目標達成するなど、わが国のサステナブルファイナンスのリード役となってきた」

優秀賞：三井住友信託銀行

「UNEPが定めたポジティブインパクト原則に基づく初の融資契約を不二製油と締結した」

融資先企業のサステナビリティの推進を金融機関が支援する役割を明確化した」

優秀賞：野村證券

「国内でのグリーンボンド等の ESG 債の積極的な引き受けのほか、同市場育成のための研究会主催、ESG 債インデックスの提供など、幅広く ESG 債市場の育成に貢献した」

優秀賞：三井住友銀行

「TCFD 提言に沿う気候変動シナリオ分析を実施、自行が抱える物理的な気候リスクを国内金融機関として初めて自己評価した。水災被害の影響を定量分析して公表した」

グリーンボンド賞：明電舎

「電気自動車用中間財の設備資金を初めてグリーンボンドで調達。国際的にも厳格な CBI 認証を得るなど、日本のグリーンボンド市場の「質の向上」に貢献した」

グリーンボンド賞：トヨタファイナンス

「米国、欧州でのグリーンボンド発行に続く、今回の円建て債発行で 3 通貨発行を実現。発行規模も 600 億円と大きく、国内 ESG 債市場の流動性向上に貢献した」

地域金融賞：群馬銀行

「国内の地方銀行初のグリーンボンド発行。調達資金は地元の中小企業向けの環境融資や省エネ事業等に充当。地域でのグリーンな資金の循環を生み出す期待を高めた」

NPO 賞：WWF ジャパン

「2014 年以来、業種別の「企業の温暖化対策ランキング」を実施。29 業種 450 企業を NGO の視点で客観的に分析。消費者、投資家に資するランキング情報を提供してきた」

特別賞：東京海上ホールディングス

「アジア太平洋諸国で 20 年にわたり、マングローブ植林による価値創出活動を展開。地域貢献と共に顧客を巻き込んだプロジェクトを実施。自社のカーボンニュートラルも実現」

審査員は、魚住隆太・魚住サステナビリティ研究所代表、大庫直樹ルートエフ代表取締役社長、佐藤泉弁護士（委員長）、末吉竹二郎国連環境計画特別顧問、高田英樹グリーンファイナンスネットワーク事務局長、鳥谷礼子預金保険機構運営委員会委員、中北徹東洋大学教授、藤井良広環境金融研究機構代表理事、堀江隆一 CSR デザイン環境投資顧問代表取締役社長、山本利明大阪電気通信大学教授で構成。（環境金融研究機構は非営利団体です）